**2017年度「精神分析・臨床と理論セミナー」のご案内**

主催：大阪精神分析研究会

大阪精神分析研究会では、2006年4月より4年間（40回）で計100時間の「対象関係論研究セミナー」を二期にわたって開催してまいりました。2014年度からは、これまでのセミナーを発展させて、全体の構成を変更し、「精神分析・臨床と理論セミナー」を開催しています。このセミナーでは、4年間100時間（年10回、毎回2時間半）で精神分析の概要を、臨床と理論の両面からきちんと学ぶことを目標としています（これまでの「対象関係論研究セミナー」とは内容的には重複しないようになっています）。2017年はセミナーの最終年となりますが、若干名の途中参加が可能ですので、興味のある方はお申込みください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

１．セミナー開催予定日：原則として毎月第二月曜日、午後7時より9時半まで

　　但し、祝日、学会などの都合で変更になる場合があります。

　　年間10回の予定で、2017年4月10日より開始します（8月、1月は除く）。

２．セミナー会場：上本町精神療法オフィス（天王寺区上本町6-3-31上本町ハイハイタウン815号）

３．セミナー講師：館　直彦（たちメンタルクリニック院長、大阪市立大学大学院特任教授、日本精神分析学会認定精神療法医SV）、増尾徳行（兵庫県立光風病院、日本精神分析学会認定心理療法士）

　　テーマによって、他の講師が講義することがあります。

４．参加資格：精神分析および対象関係論に興味を持っている臨床家。経験は問いませんが、多少の臨床経験がある方が分かりやすいと思います。尚、当セミナーは、日本精神分析学会の認定制度で定める研修グループの系統講義として認定されています。受講は1年単位でも構いません。

５．参加費：60,000円

６．申し込み：上本町精神療法オフィス　担当：石崎（objectrelations.osaka@gmail.com）までメールでお申し込みください。締め切りは4月7日です。質問があれば随時ご連絡ください。

2017年度より新規で参加される方でご希望の方には、前年度までに使用したレジュメを実費でお分けしますので、お申し出ください。

７．セミナーの進め方：毎回、事前にセミナー内容について、目的、要点、参考文献などを案内します。当日は、講義の後、質疑応答の時間を十分に取る予定です。

**セミナーの目的と2017年度スケジュール**

精神分析は、単なる臨床理論ではなく、人間の理解を目指したものであり、私たちのものの見方を変えることで、生きていく上での新たな知恵を授けてくれるものであると思います。ただ、精神分析は知識として学ぶことは簡単に出来ても、私たちの血となり肉となって役に立つものにすることはとても難しいと感じています。そこでこのセミナーでは、精神分析の創始者フロイトから、クライン、ウィニコットと発展する対象関係論の流れの中から、精神分析の重要テーマを抽出し、それについて論じていきたいと思います。その結果として、私たち自身の経験としての精神分析を学んでいくことが出来、私たちが主体的に考えることが出来るようになることを目指しています。扱われるテーマは、心の中で人は世界をどのように捉えているのか、幼い心はどのようなものなのか（環境との間でどのような相互作用が展開するのか、また、精神病理との関係はどうなっているのか）、創造性とは一体どのようなものなのか、また、美とは何か、精神分析はどのように作用するのか、何を目指しているのか、などといったものとなる予定です。

2017年のセミナーは現代対象関係論の展開を中心に検討していきたいと思いますが、ウィニコットの対象関係論から、ビオン、ラカン、そしてオグデンとボラスについて述べていきます。

2017年

［ウィニコットの対象関係論］

4月：早期発達の理論

5月：移行対象、遊ぶこと、創造性

6月：破壊性

7月：ビオンの対象関係論

［ラカンの精神分析］

9月：神経症の精神分析

10月：精神病の精神分析

11月：オグデンの対象関係論

［ボラスの対象関係論］

12月：自由連想について

2017年

2月：狂気と精神病

3月：まとめ